



週報

■2月は、『平和と紛争予防紛争解決月間』

第1512回例会 2018年2月22日 Vol.32/No.30

■本日の例会／第1513回 平成30年3月1日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- イニシエーションスピーチ・林 貴信 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数……………53名
- ・出席者……………30名
- ・欠席者……………23名
- ・出席率……………56.60%
- ・2/8の修正出席率…86.54%

■会長挨拶



田中 寿 会長

2月の第3回目の例会です、今日はゲストスピーカーに河野宮崎県知事をお迎えしております、知事に於かれましてはご多忙の中快諾頂きありがとうございます。後ほど30分ほどではありますが、県政にまつわるお話をお聞きできるものと期待しております、もうお一人のビジターは、宮崎西クラブの橋村会員です、どうぞごゆっくりお楽しみください。

さて先週は、以前私が佐賀県のある自治体の観光アドバイザーをしていました頃の、OB会と言うか関係した人たちの飲み会があって福岡に行って参りました。当時、あまり売りの無い佐賀県という事で、その中でも意外と多い日本酒を観光リソースとしてとらえられないかという事を提案しておりました。その後私は病が見つかり半年ほどで事態いたしました、聞いてみると、今東南アジアを中心に、特にベトナムの方が多くと言いますが日本酒の造り酒屋をめぐるツアーで年間一万人程度のインバウンド客が来ているという話でした、このアイデアが出た時には、誰もが「なんで外人が日本酒を呑むもんか」とか、来てどう対応したらいいのかわからん、などと言うネガティブな話ばかりだったと記憶していますが、面白い事になっているなあと感じております。

いろいろなところで、商店街の活性化・町興しいろいろと取りざたされていますが、過去の例を見てみると、それらのグループの中にいる人たちはほぼ全員がステークホルダーであり外部と言えば行政の人が何人かいる程度でした、此処に大きな間違いがある様な気がしております、直接の関係者やステークホルダーばかりだと、思い切った発想の転換や角度の違う見方をするという事が出来ないケースが多いのではないのでしょうか。宮崎も観光産業は苦境に立っていると聞いております。リソースはあります、そのある

リソースをどう使うか、そこに踏み込まないとますます苦境に立つことになるのではないのでしょうか。

例えば、RCの中にあるRCC地域共同体などというプロジェクトなどは、まさに地域起こし・活性化の糸口をつけるにはもってこいの事業だと思います。

■幹事報告



生駒俊明 幹事

2/22(木) 都城の「NPO法人 どんぐり1000年の森をつくる会」より多年のどんぐり株主の募集の案内が来ています。

一株500円になっています。できるだけたくさんのご協力をお願い致します。

■シーガイアトライアスロン委員会 理事会報告



押川紘一郎 副委員長

クラブのご支援をいただいておりますこの大会も、21年目となりました。1月25日、理事会が開催され、坂本弘史委員長出席のもと、20回記念大会として7月8日開催することが承認されました。

2月1日エントリー開始いたしました、現在745名の応募があり、ジュニアはキャンセル待ちとなっております。

全国からの応募のうち、東京近県から100名、福岡133名地元は236名となっております。

今後皆様のご協力よろしく御願いたします。

■外部卓話



宮崎県知事 河野俊嗣 様

このところ交通インフラの整備が着実に進展しています。

昨年12月、待望の「宮崎一成田線」が、LCC(格安航空会社)のジェットスター・ジャパンにより就

航。首都圏のみならず海外に向けた窓口が、さらに広がりました。

国際線では、アジアナ航空「ソウル線」が、冬季（昨年12月～本年3月24日）は週3便から週5便に増便。LCCのイースター航空が昨年12月に週3便で就航したため、現在、「ソウル線」は週8便となっています。

さらに、「台北線」では、本年3月より週2便から週3便に増便されるほか、就航から4年目を迎える「香港線」も、利用者が増加しています。

また、宮崎ブーゲンビリア空港では、国際線専用スポットの新設や、国内初となる小型機に対応したロング旅客搭乗橋など、旅客ターミナルの整備が進んでおり、空港の利便性と機能性が大きく向上しています。

楽天トラベルの「2017年秋の訪日旅行（インバウンド）人気上昇都道府県ランキング」では、本県が全国2位となるなど、外国人旅行者も増加。国内外への旅行や出張がより便利になっていますので、県民の皆さんも、ぜひご利用ください。

次に、宮崎港と神戸港を結ぶ長距離フェリー航路は、神戸への上り便の貨物の約7割が農畜産物。これは県産農畜産物の約1/4に相当し、農林水産業を基幹産業とする本県にとって重要な航路です。

さらに、本県は大消費地から遠く、トラックドライバーの不足や長時間労働が課題となっていることから、長距離フェリー航路は、＜本県経済の生命線＞と言えます。

この航路を将来にわたり安定的に維持するため、県や宮崎市、地元経済界など「オール宮崎」の体制で新会社を設立。この新会社で現会社の従業員を受け入れて経営の安定化を図り、老朽化の進む現船に替わる新船の就航に向けて、関係者と一体となって取り組んでまいります。

さらに、高速道路は、東九州自動車道「日南北郷ー日南東郷」間が今年度中に、九州中央自動車道「高千穂ー日之影」間の一部区間が来年度中に供用開始の予定。また、都城志布志道路も「梅北ICー金御岳IC」間が今月開通し、来年度末には供用率が50%を超える予定です。

おかげさまで、ミッシングリンクの解消が着実に進んでいます。

交通インフラの充実は、県民の皆さんの利便性向

上や安全・安心の確保、また、地域経済・産業の発展のために不可欠です。

今後とも県政の最重要課題のひとつとして積極的に取り組んでまいります。

出席委員会報告

甲斐裕隆 委員長

◆2/8メイクアップ者名（敬称略）

糸数智美、小川正宏、長友春雄、秦 喜八郎、山川 力、湯浅敏幸

ハッピーボックス（敬称略）

●岡田圭史…今月の始めに初めて税務所が入りました。やっつけてやりました。一円も取られませんでした。正直者は馬鹿を見ませんでした。

◆ビジター

橋村康弘 様（宮崎西RC）



ロータリー情報

ポール・ハリス語録 8

ロータリーの会員になるということは、同時に、ロータリアンとして掲げる理想と規範を、自分の同業組合の中に持ち込むという責任を負うことです。この点を見落としてはなりません。ロータリアンは、ロータリーの理想と規範を、同業者すべてに、理解させ、受け入れさせるよう努力しなければなりません。(My Road to Rotary)

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明